

光学フィルムを開拓

型硬化マ UVポリマ 大ファイ 成 硬化性と密着性兼備

大成ファイナケミカル(千葉真旭市)は、UV硬化型ウレタンアクリルポリマー「アクリット8BR」シリーズに、硬化性と密着性が特徴の新製

品「8BR-930」を追加した。11月1日からサンプル出荷を開始する予定で、比較的硬度が求められるタッチパネルやディスプレイなどの光学

フィルム用途を開拓する。シリーズの従来品「アクリット8BR-500」が重量平均分子量約20万、二重結合当量17

00なのに対し、「930」は約1・6万と800として硬度を重視。500が対応していなかったリアセチルセルロースへの密着も可能にした。500は成形時の柔軟性が求められる自動車内装の加飾フィルム用途に、930は光学フィルム用途に向けて訴求する。

8BRシリーズはハードコート剤に添加して柔軟性を付与するための製品だが、930は多様なニーズに対応するため硬度を高め設計。性能評価テストでは、500の膜厚条件下で、ポリエチレンテレフタレート(PEE)フィルムに硬度F3H、伸び率35〜125%を実現した。

500と930はともに、アクリルポリマーを主鎖、ウレタンポリマーを側鎖としたポリマー材料で、アクリルとウレタンの組成や比率を変えることで硬度や伸び率を調整できる。またPEEをはじめとする各種基材への密着性に優れるほか、酸を含まないため腐食を防げる。

ファイナ・スペシャリティ 高機能材料